

ドルチェ邦楽合奏団グループ

東京邦楽合奏団 第7回定期演奏会

邦楽器とジャズピアノによる異色のコラボ！

平成 22 年 6.13
〔日〕14:00 開演 (13:30 開場)

日本橋劇場(日本橋公会堂)

主 催： ドルチェ邦楽合奏団グループ 東京邦楽合奏団
後 援： ドルチェ邦楽合奏団グループ 千葉邦楽合奏団・神奈川邦楽合奏団
在日ラトビア共和国大使館

東京邦楽合奏団第7回定期演奏会を迎えて

ドルチェ邦楽合奏団グループ代表 坂田 誠山

本日はお忙しいところ東京邦楽合奏団の第7回目の演奏会にご来場くださいまして、誠にありがとうございます。

我々は邦楽界の活性化を目途に「邦楽って楽しいの?」「もちろん!」をモットーに千葉邦楽合奏団を皮切りに、現在は東京邦楽合奏団、神奈川邦楽合奏団と活動の輪を広げ、ドルチェ邦楽合奏団グループとして活動を行っております。現状、閉塞感に覆われていると思える邦楽界の活性化は何をおいても魅力ある演奏、及び作品を提供し演奏会に足を運んで頂いている方々に音楽としての邦楽を楽しんで頂くことが重要な要素と思いつつ、先ず隣より始めよの気持ちで、日頃の切磋琢磨を積み重ねて今日の演奏会を迎えております。活性化を生む最善の方法は、邦楽に携わるものの多くの方が邦楽を楽しんで貰おうと全国的な規模で展開し、より多くの方が邦楽の楽しさを体験して頂くことに尽きると思っております。このようなスタンスの中で生まれたのが一昨年の「竹取ものがたり」でした。この時のコンサートは1800人のホールがたちどころに一杯になるほどの反響があり、チケットの争奪戦ながらの様相を呈する程でした。演奏後の評価も大変な反響がありました。この作品に対してエポックメイキングな作品と評する人もいたほどでした。我々の活動の成果がやっと実を付け、少しづつではありますが少し花開いた感がいたしました。さて、今回の第7回はジャズピアノのケイコさんを迎えてのコラボレーションがメインのコンサートです。ケイコさんとは一昨年彼女のコンサートに共演させて頂き、今日演奏いたします「Shu-Mo-Ku」で共演してますが、ジャズの方々はテーマの譜面しか無く、その他は全てアドリブで演奏されています。我々楽譜に書かれていることを斟酌して表現する立場からすると驚きでもあり、羨ましくもありました。気が乗れば延々の演奏も可能なのでしょう。

今回の共演での「The IZANAI」は元々の「いざない」の箏ソロのパートを担当して頂き、その譜面をジャズの感性でアドリブも加えて頂くなど、ジャズとのコラボレーションがどのような響きになるかとても楽しみで依頼いたしました。お互いがアドリブで共演出来るのであればケイコさんも荷が軽いかと想像いたしますが、ピアノが完全にアドリブで、譜面どおりに演奏する邦楽アンサンブルに合わせての演奏はとても大変な事であろうと推察されます。無理のある提案にも快くお引き受け頂いたケイコさんの懐の深さに感心すると共に、今回の共演での結果がとても楽しみであります。

最後になりましたが今回の定演にご協力いただきました関係各位に心底より感謝申し上げます。どうぞ今後とも皆様のあたたかいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■ プログラム ■

比婆の夜祭り 坂田誠山作曲

指 挿：坂田 誠山

尺八1：富田 翰山・林 嵐山・千島舟静山・黒武者翔山・富田 浄山
米山 良山・成田賀瑛山

尺八2：森 佳久山・鈴木 故山・中野 兆山・安田疏詠山・大川礼峰山
栗子 照雄

箏 1：渡辺 澄子・山口喜久子・平林 容子・松崎 紀子

箏 2：梅田佳予子・内野 典子・吉田 麗子・金田 忍

十七絃箏：奥田恵美子・岡田喜代子・中村 幸子

この曲は、平成8年の広島国体長刀会場となった広島県比婆郡西城町の依頼により、開会式における選手入場の為の行進曲として作曲したものを、後に改作したものです。

曲は、尺八四重奏曲「思郷の詩」のテーマを使用し、皆が楽しく祭りに参加している様と、比婆郡西城町の比婆山に出現したと全国的に話題となった怪物「比婆ゴン」の行進をイメージして作曲いたしました。

最初と最後の速いテンポの部分は、祭りに参加してワッショイ、ワッショイと騒ぎながら楽しんでいる様を、又中間部のゆっくりした部分は、疲れて一休みしながら、様々な思いに浸っている様を表わしています。

変奏曲とフーガ 草野次郎作曲

指 挿：坂田 誠山

尺 八：森 佳久山・富田 翰山・林 嵐山・鈴木 故山・中野 兆山
安田疏詠山・千島舟静山・黒武者翔山・富田 浄山・大川礼峰山
米山 良山・栗子 照雄・成田賀瑛山

箏 ： 渡辺 澄子・山口喜久子・平林 容子・松崎 紀子・梅田佳予子
内野 典子・吉田 麗子・金田 忍

十七絃箏：奥田恵美子・岡田喜代子・中村 幸子

西洋音楽のフーガ形式を、一度、邦楽に移植してみようと思いこの曲を書きました。本来、様々な転調が前提となっているフーガを、それにあまり適さない邦楽器で行うこと自体多くの問題を生じますが、絶対音楽としてのフーガの持つ普遍的な表現力を信じて敢えて書きました。変奏曲の主題は断片的なものばかりですが、6つの変奏が進むにつれて、それらが互いに有機的に作用します。アンサンブルとしても少々複雑で難易度としても低くありません。また、各楽器に要求される表現の幅も広くなっています。

DANZA BURLESCA田中修一作曲

指 挿：坂田 誠山

尺八1：富田 翰山・林 嵐山・鈴木 故山・黒武者翔山・富田 浄山
大川礼峰山・成田賀瑛山

尺八2：森 佳久山・中野 兆山・安田疏詠山・千島舟静山・米山 良山
栗子 照雄

箏 1：渡辺 澄子・山口喜久子・平林 容子・松崎 紀子

箏 2：梅田佳予子・内野 典子・吉田 麗子・金田 忍

十七絃箏：奥田恵美子・岡田喜代子・中村 幸子

この曲は1999年東京尺八合奏団第17回定期演奏会の委嘱で作曲された曲です。ダンツアブルレスカとは、滑稽なる、または諧謔的なる舞踏という意の題名です。曲は単一楽章の三部形式で、尺八二部、箏二部、十七絃箏の編成からなっています。（田中修一記）

モーツアルト編曲集石井由希子編曲

指 挿：坂田 誠山

尺八1：森 佳久山・鈴木 故山・中野 兆山・安田疏詠山・千島舟静山
栗子 照雄・成田賀瑛山

尺八2：富田 翰山・林 嵐山・黒武者翔山・富田 浄山・大川礼峰山
米山 良山

箏 1：渡辺 澄子・山口喜久子・平林 容子・松崎 紀子

箏 2：梅田佳予子・内野 典子・吉田 麗子・金田 忍

十七絃箏：奥田恵美子・岡田喜代子・中村 幸子

この曲は2006年千葉邦楽合奏団第9回の定期演奏会で初演された曲です。その年はモーツアルト生誕250年ということで邦楽器でモーツアルトに挑戦した編曲集でした。

一度はどこかで聴いたことのあるような名曲を5曲、メドレーでお贈り致します。

アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク/メヌエット/トルコ行進曲/

ピアノ協奏 曲第21番/交響曲第40番

(石井由希子記)

シュモク
Shu-Mo-Ku ケイコ ボルジェソン
Keiko Borjeson作曲

ピアノ：Keiko Borjeson 尺八：坂田 誠山

Shu-Mo-Ku(撞木)は仏具の一つで鐘を打ち鳴らすT字形の棒のこと。

「平和に祈りをこめて」のメッセージ。

～和楽器とジャズピアノによる～
THE IZANAI 石井由希子作曲

指揮・尺八独奏：坂田 誠山

ジャズピアノ：Keiko Borjeson (ケイコ ボルジェソン)

尺八1：森 佳久山・中野 兆山・安田疏詠山・富田 浄山・大川礼峰山

米山 良山・成田賀瑛山

尺八2：富田 翰山・林 嵐山・鈴木 故山・黒武者翔山・千島舟静山
栗子 照雄

箏 1：山口喜久子・梅田佳予子・平林 容子・松崎 紀子

箏 2：内野 典子・中村 幸子・吉田 麗子・金田 忍

十七絃箏：渡辺 澄子・岡田喜代子・奥田恵美子

今から17年前、邦楽と関わるようになって間もない頃、尺八・箏協奏曲「いざない」を作曲しました。その頃は、和楽器独特の雰囲気に魅せられ始めた時期で、「この魅惑的な世界に、皆様をいざなう（誘う）ことができれば・・・」との思いを込めて作曲したものです。

そして今回は、邦楽とジャズピアノとの共演という、異色のコラボが実現することになり、新しく「THE IZANAI」が誕生します。

とても素敵なジャズピアニストであるケイコさんが、魅惑的なスパイスを効かせて、「いざない」に爽やかな息吹を与えてくださることと、ワクワクしております。

邦楽とジャズピアノとのアンサンブルの妙味を、お楽しみ頂ければ幸いです。（石井由希子記）

■プロフィール ■

坂田誠山



神野生山・人間国宝島原帆山両氏に尺八を師事。N H K邦楽技能者育成会12期卒。1969年にブルガリアにおける世界民族音楽コンクールで銅賞受賞。71年～97年迄日本音楽集団に在籍し、副代表を務め、国内各地のほか、カーネギーホールなど世界各地でのコンサートのみならず、81年ライブチッヒ・ゲバントハウストラとの三木稔作曲《急の曲》世界初演、94年ニューヨークフィルとの米初演に貢献。又85年セントルイスオペラ劇場の三木オペラ《じょうるり》世界初演に尺八ソリストとして参加。92年にはベルリン芸術大学主催による尺八リサイタルを開催、95年にはエストニアの招きで「フェスティバル<オリエント95>」にメイシゲストとして参加。他にも多くの海外公演を行い好評を得ている。

又国内では、読売日本交響楽団等多くのオーケストラとの共演や、サントリーホールでヨーヨー・マと共に演する等、伝統楽器のみならず洋楽器との共演も数多い。98年『オーラJ』を結成、現在はその代表を務めながら、その運営と独自性確立に全精力を注いでいる。

ケイコ ボルジェソン
keiko borjeson



東京、麻布生まれ。桐朋学園大学ピアノ科卒業。安川加寿子氏に師事し、クラシック音楽を学ぶ。室内音楽を学ぶため、イタリアに留学。「76年に渡米、ハリフィールド音楽院でポピュラージャズ、ボーカル専攻。

‘80年代よりデューク・エリントン、カーメン・マクレエ、ローランド・ハナ、ハンク・ジョーンズ、マル・ウォルトンなど一流ミュージシャンとの出会いを通して、ジャズの真髄を学び、アメリカ、ヨーロッパを中心に活動。モントレー・ジャズフェスティバルなど音楽祭にも多数参加。現在スウェーデンに拠点をおき、2003年、スウェーデン王室より北極星メダルを授与される。各国での福祉活動にも力を入れ、特にラトビア子供支援の会会長を務め、毎年、ラトビアで活動をしている。日本においても各地でのコンサート、毎年12月には、サントリーソホールにてリサイタルを開催。<http://www.myspace.com/keikoborjeson>

石井由希子



千葉県出身。幼時期よりピアノ、作曲、箏曲を学ぶ。作曲を牛腸征司氏に、指揮法を甲斐正雄氏に師事。90年武蔵野音楽大学作曲学科卒業。92年第3回「箏・創作フェア」作曲コンクールにて最優秀賞・朝日新聞社賞受賞。95年「世界ホルンフェスティバル in やまがた」ファンファーレ募集において、第1位特選を受賞。2000年 国立劇場作曲コンクールにて入選。現在、日本音楽著作権協会会員、日本作曲家協議会会員。

主な邦楽関係の作品

○尺八四重奏曲「春愁」 ○尺八・箏二重奏曲「碧浪の譜」 ○尺八・箏コンチェルト「いざない」 ○尺八・二十絃箏と吹奏楽による協奏曲「S O M E W H E R E」（玉村町文化振興財団委嘱作品） ○尺八・箏合奏曲「祝典序曲」 ○浦の舟唄 一尺八・箏・三絃・十七絃の為の一 ○尺八とシンセサイザーによる「子守歌特選集」 作編曲。その他多数。

■東京邦楽合奏団団員■

坂田 誠山（指揮・尺八）	石井由希子（専属作曲家）
森 佳久山（総務・尺八代表）	内野 典子（会計・箏）
鈴木 故山（会計・尺八）	岡田喜代子（十七絃箏）
大川礼峰山（尺八）	金田 忍（箏）
栗子 照雄（尺八）	山口喜久子（箏）
黒武者翔山（尺八）	吉田 麗子（箏）
千島舟静山（尺八）	渡辺 澄子（十七絃箏・箏）
冨田 翰山（尺八）	
冨田 浄山（尺八）	菅井 愛（箏/休団中）
成田賀瑛山（尺八）	
中野 兆山（尺八）	
林 嵐山（尺八）	
安田疏詠山（尺八）	
米山 良山（尺八）	

～友情出演～

■千葉邦楽合奏団■

梅田佳予子（箏）
中村 幸子（十七絃箏・箏）

■神奈川邦楽合奏団■

奥田恵美子（十七絃箏）
平林 容子（箏）
松崎 紀子（箏）

～特別ゲスト～

ケイコ ボルジェソン
keiko borjeson (ジャズピアノ)

☆★ドルチェ邦楽合奏団グループ合奏団団員募集★☆

ドルチェ邦楽合奏団グループは、現在千葉、東京、神奈川の3つの合奏団からなり、専属作曲家石井由希子の作品を中心に、その他の現代作品をも含め、「邦樂って楽しいの？」「もちろん！」をモットーに演奏会を開催し、邦楽の普及、発展及び大衆化を目的に活動しているグループです。今後も各地にグループ傘下の合奏団を設立し、単独の活動は勿論の事、合同で力を結集し「竹取ものがたり」のような大きな曲を演奏することで、邦楽界に一石を投じ、活性化に貢献出来る活動を進めていきたいと思っております。

五線譜に興味のある方、現代の楽しい曲に興味のある方、邦楽界を活性化したいと思っている方、大観衆の前での演奏は感無量です。

新しい作品にも直ぐに慣れます。奮ってのご参加お待ちしてます！



「竹取ものがたり」演奏写真

「竹取ものがたり」は、とても大きな反響を呼びました。終演後、すみだトリフォニーホールの1800席を埋め尽くす聴衆の10分間にも及ぶ鳴りやまない拍手の中で、団員一同感無量のひとときを堪能していました。長期間掛けて仕上げた苦労が花開いた瞬間でもあったのです。

この曲は70分に及ぶ大作ですが、中央で厳かにしかも妖艶に舞うかぐや姫の美しさにうつとり、又美しい声のソプラノ、台詞も含めた迫力満点のバリトン、楽しげに盛り上がるコーラス、邦楽器を熟知し作曲された邦楽器群が効果的に響き、それらが相まって曲は進行し会場はその楽しさにどっぷりと浸っているかの様でした。この曲は子供達に邦楽を身近に感じられるような曲にしたいと意識して準備を進めたので、子供達にも飽きさせることなく聴いていただけるでしょう。

邦楽の大衆化は、心から堪能できる作品を全国的な規模で公開し、より多くの皆様に邦楽の楽しさを体験していただくことが肝要でしょう。ドルチェ邦楽合奏団グループとしては、当面「竹取ものがたり」を各地で数多く演奏して邦楽の普及活動に貢献出来ればと思いつつ活動しているところです。来年11月すみだトリフォニーホールで再演したく準備中です。

あなたも「竹取ものがたり」の演奏に参加しませんか！

詳しくは下記東京邦楽合奏団事務局にお問い合わせ下さい